

秋月三名君フォーラム in朝倉2024

～経世済民に学ぶこと～



基調講演

『治国安民』の政治改革
～秋月三名君の治世に何を学ぶか～

講師 千葉大学教育学部 教授
小関 悠一郎 氏

入場
無料
(定員478名)

【期日】
令和6年 11月2日(土)
13:00～16:30
[受付12:00～]

【場所】
朝倉市総合市民センター
ピーポート甘木 中ホール
福岡県朝倉市甘木198-1

【お問合せ】
秋月ルネサンス協議会事務局
090-7389-7747



三名君フォーラムでは、名君の誉れが高い秋月家が生んだ三名君「秋月種茂・上杉鷹山・黒田長舒」の治世を「経世済民」の視点から洗い直し、現代社会が抱える問題を見つめ直します。
現代に必要な経世済民について温故知新をきっかけに、一人ひとりの住民が夢や希望を持ち、豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を目指しましょう。

※経世済民とは、世の中をよく治めて人々を苦しみから救うことであり、経済という言葉の起源です。

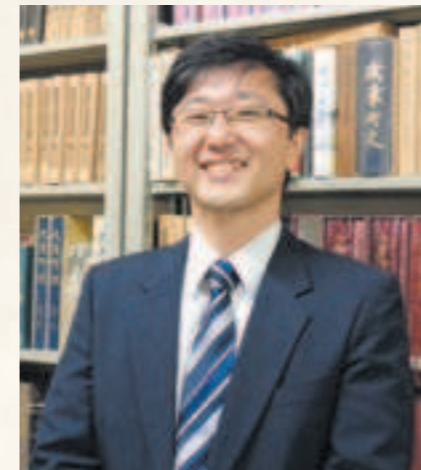
三名君フォーラム in 朝倉 プログラム

【次第】

実行委員長挨拶	実行委員長 田尻 雄輝
主催者挨拶	朝倉市長 林 裕二
来賓紹介	
アトラクション	稽古観の教え唱和 秋月中学校
基調講演	「『治国安民』の政治改革 ～秋月三名君の治世に何を学ぶか～」 講師 千葉大学 教授 小関 悠一郎 氏
パネルディスカッション	テーマ:秋月三名君の経世済民の政治 パネラー 高鍋史友会 会長 石川 正樹 氏 新島学園短期大学 教授 堀田 学 氏 日本経済大学教授・地域連携センター長 (公財)亀陽文庫・能古博物館 顧問 竹川 克幸 氏
	コーディネーター 堀 和弘 氏
三藩御当主による鼎談	高鍋藩 秋月 種高 氏 米沢藩 上杉 邦憲 氏 秋月藩 黒田 長幹 氏
次回開催地代表挨拶 閉会	米沢・朝倉交流会 会長 北村正敏 氏

小関 悠一郎先生のプロフィール

Profile



小関 悠一郎 コセキ ユウイチロウ

1977年(昭和52年)宮城県仙台市生まれ。一橋大学社会学部卒業、同大学院社会学研究科修士課程・博士後期課程修了。博士(社会学)。日本学術振興会特別研究員 PD(東北大学)などを経て、現在、千葉大学教育学部教授。

専門は日本近世史。改革を担った人々の意識・思想、政治理念・明君論といった観点から、幕藩政治改革を研究。米沢藩の改革を中心に、熊本藩や松代藩の共同研究に参画してきた。「資料ネット」の活動を通して歴史資料の保全にも取り組んでいる。

主な著作に、『〈明君〉の近世 ―学問・知識と藩政改革―』(吉川弘文館、2012年)、『〈人をおく〉上杉鷹山と米沢』(吉川弘文館、2016年)、『上杉鷹山「富国安民」の政治』(岩波書店、2021年)、『藩地域の政策主体と藩政』(岩田書院、2008年、共編著)、『熊本藩からみた日本近世』(吉川弘文館、2021年、共編著)などがある。

「治国安民」の政治改革 ～秋月三名君の治世に何を学ぶか～

近世を代表する名君(明君)と言われる米沢藩主・上杉鷹山と、それに劣らぬ治績で知られる高鍋藩主・秋月種茂、秋月藩主・黒田長幹。彼らの治世にはどのような共通点があるのでしょうか。彼らは先人や学問に何をまなび、どのような社会を目指して藩政の改革に立ち向かったのか。近年の歴史学が切り開いてきた明君論や政治理念の研究に基づいて、秋月三名君の治世を読み解きます。

パネルディスカッション パネラーの紹介

高鍋



高鍋史友会 会長 石川 正樹 氏

米沢



新島学園短期大学 教授 堀田 学 氏

秋月



日本経済大学教授・地域連携センター長
(公財)亀陽文庫・能古博物館 顧問
竹川 克幸 氏

コーディネーター



朝倉市教育委員会 指導主事
朝倉市立秋月中学校 元校長
堀 和弘 氏